

令和 5 年 5 月 11 日現在

機関番号：32682

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2020～2022

課題番号：20K01756

研究課題名(和文) 中小企業における損害保険需要 - ファイナンス理論・保険論に基づく実証的検証 -

研究課題名(英文) On Property Liability Insurance Demand of Small and Medium-sized Enterprises- Empirical Evidence Based on Finance and Insurance Theories-

研究代表者

浅井 義裕 (Asai, Yoshihiro)

明治大学・商学部・専任教授

研究者番号：60433645

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文)：日本の製造業の中小企業に対して、アンケート調査(企業の保険とリスクマネジメント(新型コロナウイルスの感染拡大期)に関する実態調査)を実施した。本調査では、地震保険、製造物賠償責任保険(PL保険)、事業中断保険/利益・費用保険、サイバー保険、法定外労災保険(政府労災保険等の上乗せ補償)、取引信用保険、会社経営者賠償責任保険(D&O保険)を購入している企業の割合が明らかになっただけでなく、それぞれのリスクに備えている保険金額など、従来はほとんど知られていなかったことが明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

アンケート調査で、中小企業の保険購入の実態(地震保険、製造物賠償責任保険(PL保険)、事業中断保険/利益・費用保険、サイバー保険、法定外労災保険(政府労災保険等の上乗せ補償)、取引信用保険、会社経営者賠償責任保険(D&O保険))、特にそれらの保険を購入している企業の割合、保険金額が明らかになったことで、今後、災害などに備えている企業、備えることができていない企業の特徴などを明らかにすることで、中小企業と保険の実態について学術的な貢献ができると同時に、今後、政策的に支援をすべき企業が明らかになるなど、社会的な意義も大きいものと考えられる。

研究成果の概要(英文)：A questionnaire survey (survey on corporate insurance and risk management (during the period of the spread of the new coronavirus) was conducted among SMEs in the manufacturing industry in Japan. The survey not only revealed the percentage of companies purchasing earthquake insurance, product liability insurance (PL insurance), business interruption insurance/profit and expense insurance, cyber insurance, workers' compensation insurance (additional coverage to government workers' compensation insurance, etc.), trade credit insurance, and company management liability insurance (D&O insurance), but also the respective the amount of insurance coverage for each risk was also revealed.

研究分野：保険論、金融論

キーワード：中小企業金融 リレーションシップバンキング 損害保険 生命保険 金融教育 海外進出 役員派遣

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

# 研究成果報告書

## 1. 研究開始当初の背景

従来の研究は、上場企業の保険・リスクマネジメントに焦点を当てていて、中小企業に注目したものはほとんど存在していない。また、中小企業に焦点を当てた研究も、その多くが、銀行と中小企業のリレーションシップバンキングに注目していて、中小企業金融における、保険の役割に焦点を当てた研究は国内だけでなく海外でも進んでおらず、中小企業の災害対策、事業継続などについての政策を検討する際にも、議論の基礎となる資料が限られている実情がある。

## 2. 研究の目的

こうした中で、本研究プロジェクトは従来の保険料合計に基づく損害保険需要の分析に留まることなく、アンケート調査を活用することで、「企業が直面するリスクに対して、保険を利用して対応しようとしているのか?」、具体的には、「経営者賠償責任保険(D&O保険)、製造物賠償責任保険(PL保険)、地震保険、事業中断保険/利益・費用保険、サイバー保険、法定外労災保険、取引信用保険を購入しているのか、購入しているとすればどの程度の保険金額を設定しているのか?」といった保険がカバーする範囲についての細かい情報を得て分析を進めることで、保険料合計に基づく損害保険需要の分析といった、従来の申請者の研究よりもさらに多くのことを明らかにする。

## 3. 研究の方法

東京商工リサーチに委託して、日本の製造業の中小企業 200 社(従業員数 21 名以上 500 名以下)に対して、アンケート調査「中小企業の保険とリスクマネジメント(新型コロナウイルスの感染拡大期)に関する実態調査」を実施した。そのうち、265 社(回答率 13.25%)から回答を得た。なお、従来の申請者の研究では、日本の中小企業の定義に従い、300 人以下の製造業企業にアンケート調査を発送していたが、本研究では、海外の中小企業の基準も踏まえて、301 人以下 500 人以下の企業も対象としている。

## 4. 研究成果

本研究では、まず、損害保険料は約 220 万円(中央値)、生命保険料 500 万円(中央値)であることが明らかになった。過去のアンケート調査では、損害保険料 200 万円、生命保険料 300 万円が中央値といった結果を得ていて、若干の規模の違いを踏まえれば、過去の調査結果とも整合的であることが確認できた。

また、中小企業がどのようなリスクに対して保険を購入しているのかについて、従来はほとんど情報が少なく、研究を進めること自体が難しかったが、本研究の調査では、保険を購入している企業の割合、保険金額は、それぞれ、地震保険(12.1%が購入、中央値は 4000 万円)、製造物賠償責任保険(PL 保険)(29.4%が購入、1 億円)、事業中断保険/利益・費用保険(5.2%が購入、中央値は 1 億円)、サイバー保険(6.5%が購入、中央値は 2500 万円)、法定外労災保険(16.5%が購入、中央値は 1000 万円)、取引信用保険(4.4%が購入、中央値は 5000 万円)、会社経営者賠償責任保険(D&O 保険)(2.4%が購入、中央値は 5000 万円)であることが明らかになった。また、保険以外の事柄も尋ねていて、1 社当たり仕入先が 50 社(中央値)、販売先が 80 社(中央値)であることなども確認できた。

本研究で実施したアンケート調査の結果を踏まえて、今後は、企業の財務データを準備して、「どのような特徴を持つ中小企業が、どのような種類の保険を購入する傾向があるのか?」などを明らかにすることが可能になった。また、本研究と今後の研究で得られるであろう研究結果は、単に中小企業の保険需要の実態を明らかにするという学術的貢献だけではなく、災害に備える中小企業を政策的に支援することなどを検討する際の基礎的な資料としても有用であろう。

2021 年には、科学研究費補助金の助成を受けて、過去に実施した研究の成果をまとめて、浅井義裕(2021)『中小企業金融における保険の役割』中央経済社を公刊した。中小企業が直面する、銀行から十分な資金を借りることができないという資金制約を、損害保険や生命保険、デリバティブが緩和している可能性、中小企業金融において保険が果たしている役割を指摘している。

また、申請者は過去の研究、本研究において、日本の中小企業の保険需要の構造を明らかにするという研究プロジェクトを推進してきたが、これらの日本市場における研究を先駆的なものとして、今後は、海外の中小企業の保険需要の推計、さらには、個別のリスクについて、どの程

度保険を購入しているのかなど、海外の中小企業の保険・リスクマネジメントについて明らかになっていないことを海外の研究者と協力しながら、海外に展開していくことができる研究であろう。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計7件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 浅井義裕	4. 巻 216号(別冊)
2. 論文標題 中小企業の事業承継とパフォーマンス 人生100年時代における事業承継と生命保険・個人保証 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 生命保険論集	6. 最初と最後の頁 89-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅井義裕・石井昌宏	4. 巻 第83巻3号
2. 論文標題 INPEXのリスクマネジメント	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 損害保険研究	6. 最初と最後の頁 171-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅井義裕	4. 巻 令和2年度研究報告書
2. 論文標題 住宅ローン金利選択の決定要因に関する実証分析	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 不動産流通経営協会	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅井義裕	4. 巻 第60巻2号
2. 論文標題 金融・保険知識の水準の決定要因と消費者の選択に関する一考察	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 明治大学社会科学研究所	6. 最初と最後の頁 75-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅井義裕	4. 巻 第83巻4号
2. 論文標題 消費者の保険知識の水準と決定要因	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 損害保険研究	6. 最初と最後の頁 1-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅井義裕	4. 巻 DP2022-3
2. 論文標題 地域金融機関の外部環境の分析に係る研究と手法の標準化	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 金融庁 金融研究センター	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅井 義裕	4. 巻 41
2. 論文標題 中小企業の事業承継における信託と生命保険 - サーベイと実証分析 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 信託研究奨励金成果論文	6. 最初と最後の頁 170-186
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 浅井 義裕
2. 発表標題 中小企業の事業承継における信託と生命保険サーベイと実証研究
3. 学会等名 日本金融学会 関東部会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 浅井 義裕	4. 発行年 2021年
2. 出版社 中央経済社	5. 総ページ数 184
3. 書名 中小企業金融における保険の役割	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------